

平成30年度第2回地域福祉計画推進協議会（平成31年1月25日）

資料2

# 地域の絆づくり交流会 結果報告書

# 目次

1	開催概要	1
	(1) 開催目的	2
	(2) 参加の応募方法	2
	(3) 開催日時・会場	2
	(4) 開催内容	3
	(5) 開催結果	3
	(6) 報告書の見方	3
2	分析結果	5
	(1) ワークショップ結果	6
	(2) アンケート調査結果	7
3	開催結果	9
	(1) 西和佐・和佐・小倉・四箇郷地区	10
	(2) 高松・吹上・砂山・今福地区	14
	(3) 大新・新南・広瀬・芦原地区	19
	(4) 貴志・野崎・湊・楠見地区	22
	(5) 有功・直川・紀伊・川永・山口地区	27
	(6) 雄湊・城北・本町・中之島地区	32
	(7) 名草・和歌浦・雑賀・雑賀崎・野田地区	36
	(8) 加太・西脇・木本・松江地区	41
	(9) 宮北・宮・宮前地区	45
	(10) 三田・岡崎・安原・西山東・東山東地区	49
4	参考資料	55
	(1) チラシ・ポスター	56
	(2) 新・助け合い体験ゲーム	57
	(3) アンケート調査票	58

# 1 開催概要

## (1) 開催目的

自治会、NPO・ボランティア団体、学生、市民団体などの方々の交流・情報交換を促し、計画を策定する上での基礎資料とします。

## (2) 参加の応募方法

- ・ポスター（76枚）及びチラシ（55,000枚）を作成
- ・参加者の募集を市報わかやまに掲載

## (3) 開催日時・会場

	参加対象地区	日時	会場
1	西和佐・和佐・小倉・四箇郷	平成30年11月10日（土） 14:00~15:30	河南コミュニティセンター 多目的ホール
2	高松・吹上・砂山・今福	平成30年11月17日（土） 10:00~11:30	中央コミュニティセンター 多目的ホール（大）
3	大新・新南・広瀬・芦原	平成30年11月17日（土） 14:00~15:30	中央コミュニティセンター 多目的ホール（大）
4	貴志・野崎・湊・楠見	平成30年11月18日（日） 14:00~15:30	河北コミュニティセンター 多目的ホール
5	有功・直川・紀伊・川永・山口	平成30年11月24日（土） 10:00~11:30	北コミュニティセンター 多目的ホール（2）
6	雄湊・城北・本町・中之島	平成30年11月24日（土） 14:00~15:30	和歌山市役所 14階大会議室
7	名草・和歌浦・雑賀・雑賀崎・田野	平成30年12月1日（土） 14:00~15:30	南コミュニティセンター 多目的ホール
8	加太・西脇・木本・松江	平成30年12月9日（日） 14:00~15:30	河西コミュニティセンター 多目的ホール（小）
9	宮北・宮・宮前	平成30年12月15日（土） 14:00~15:30	和歌山ビック愛 展示ホール
10	三田・岡崎・安原・西山東・東山東	平成30年11月16日（日） 14:00~15:30	東部コミュニティセンター 多目的ホール

## (4) 開催内容

- ・開会のあいさつ
- ・交流会の進め方について
- ・自己紹介
- ・第1部 助け合いの体験
- ・第2部 地域課題の掘り起こし
- ・第3部 地域活動の担い手
- ・閉会のあいさつ

## (5) 開催結果

	参加対象地区	参加者数
1	西和佐・和佐・小倉・四箇郷	22人
2	高松・吹上・砂山・今福	25人
3	大新・新南・広瀬・芦原	7人
4	貴志・野崎・湊・楠見	26人
5	有功・直川・紀伊・川永・山口	32人
6	雄湊・城北・本町・中之島	19人
7	名草・和歌浦・雑賀・雑賀崎・田野	26人
8	加太・西脇・木本・松江	16人
9	宮北・宮・宮前	15人
10	三田・岡崎・安原・西山東・東山東	24人
	合計	212人

## (6) 報告書の見方

- ・回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・図表中の「n」は、集計対象者総数を表しています。



## 2 分析結果

## (1) ワークショップ結果

10箇所で行ったワークショップの結果、その総数をみると、地域の困りごとのうち自分たちでできることは61.5%で、件数としては「手軽なお手伝い」が最も多く170件となっていますが、割合としては「交流でできること」が最も多く83.0%となっています。

また、地域の困りごとのうちご近所で解決できることは33.2%で、件数としては「手軽なお手伝い」が最も多く108件となっていますが、割合としては「一般家事」が最も多く54.3%となっています。

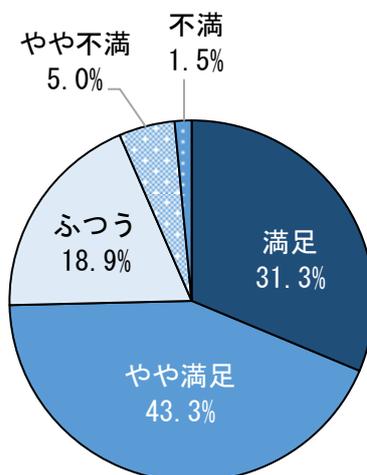
総数	全体	地域の困りごと				
		うち、自分たちでできること				
		うち、ご近所でできること				
手軽なお手伝い	375件	216件	170件	78.7%	108件	50.0%
一般家事	200件	116件	88件	75.9%	63件	54.3%
交流でできること	175件	100件	83件	83.0%	42件	42.0%
送迎や外出の付き添い	125件	75件	32件	42.7%	15件	20.0%
趣味・特技を活かして	300件	144件	105件	72.9%	40件	27.8%
紹介・相談・情報提供	75件	52件	21件	40.4%	13件	25.0%
サービス	250件	152件	27件	17.8%	3件	2.0%
全体	1,500件	855件	526件	61.5%	284件	33.2%

- 「手軽なお手伝い」とは、「ゴミ出し、薬の受取り、電球の交換、留守番、留守中のペットの散歩・えさやり、役所関係書類の説明やアドバイス、部屋の模様替えの手伝い、家具などの重い物の移動、お墓のそうじ、洗車、モーニングコール、手紙の代筆、マッサージ・肩たたき、遺影の撮影、食事の配達」のことです。
- 「一般家事」とは、「洗濯、季節の衣替え、食事づくり・片付け・買い物、掃除、ついでの買い物、アイロンがけ、裁縫、産前産後の手伝い」のことです。
- 「交流でできること」とは、「一緒に体操をする、話し相手、登下校時の見守り、子どもの一時預かり、子どもの集いでの手伝い、一緒に勉強する、一緒に昔遊び」のことです。
- 「送迎や外出の付き添い」とは、「通院・買い物などの送迎、車椅子の人の外出の手伝い、子どもの緊急時の送迎、一緒に墓参り、旅行時のつきそい」のことです。
- 「趣味・特技を活かして」とは、「電子製品のアドバイス、包丁研ぎ、草むしり・樹木や花壇の手入れ、ヘアカット、着物(ゆかた)の着付け、持っている趣味・特技を活かす活動、日曜大工、囲碁・将棋・カード遊び、簡単な外国語会話、持っている資格・仕事のスキルを活かす活動、視覚障がい者への本・新聞の読み聞かせ、言語障がい者や聴覚障がい者への会話サポート」のことです。
- 「紹介・相談・情報提供」とは、「冠婚葬祭のアドバイス、子育ての悩みへのアドバイス、仕事・介護・健康などでの悩み相談」のことです。
- 「サービス」とは、「入浴介助、排泄介助、除雪、認知症者の病院のつきそい、認知症者への服薬管理、認知症者への見守り、認知症者に対する市民後見人に準ずるサポート、認知症者との散歩同行、食事介助、着替えの介助」のことです。

## (2) アンケート調査結果

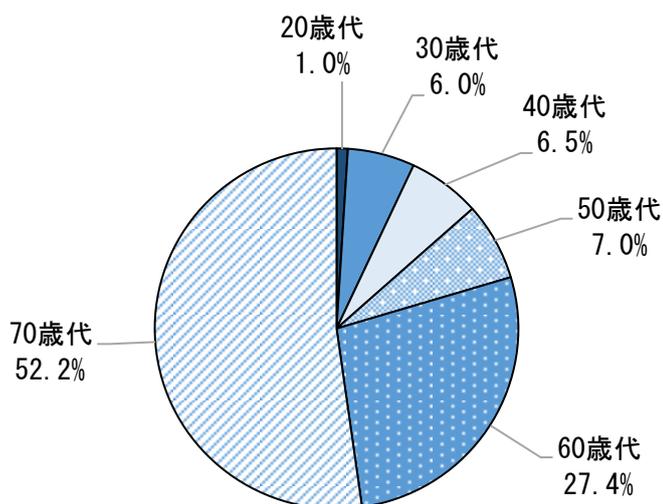
すべての交流会の満足度について、「やや満足」が最も多く 43.3%、次いで「満足」が 31.3%、「ふつう」が 18.9%と続いており、『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）では 74.6%と、7割以上が交流会に満足していることが分かります。

【n=201】



また、参会者の年齢については、「70 歳代」が最も多く 52.2%、次いで「60 歳代」が 27.4%、「50 歳代」が 7.0%と続いており、約 8 割が 60 歳以上となっています。地域の絆をつくるためには、幅広い世代に参加してもらえよう工夫が必要です。

【n=201】





## 3 開催結果

## (1) 西和佐・和佐・小倉・四箇郷地区

### ①ワークショップ結果



3テーブルでワークショップを行いました。その合計をみると、地域の困りごとのうちご近所で解決できることは「手軽なお手伝い」が最も多く 60.9%、次いで「交流でできること」「趣味・特技を活かして」が 60.0%と続いており、全体では 46.5%となっています。

合計	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	45 件	23 件	18 件	14 件	60.9%
一般家事	24 件	14 件	10 件	7 件	50.0%
交流でできること	21 件	10 件	9 件	6 件	60.0%
送迎や外出の付き添い	15 件	7 件	3 件	2 件	28.6%
趣味・特技を活かして	36 件	5 件	4 件	3 件	60.0%
紹介・相談・情報提供	9 件	2 件	1 件	1 件	50.0%
サービス	30 件	10 件	0 件	0 件	0.0%
全体	180 件	71 件	45 件	33 件	46.5%

テーブル1	全体	地域の困りごと				
			うち、自分たちでできること			
					うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15	7	6	5	71.4	
一般家事	8	2	0	0	0.0	
交流でできること	7	4	3	2	50.0	
送迎や外出の付き添い	5	3	3	2	66.7	
趣味・特技を活かして	12	2	2	2	100.0	
紹介・相談・情報提供	3	1	1	1	100.0	
サービス	10	3	0	0	0.0	
全体	60	22	15	12	54.5	

テーブル2	全体	地域の困りごと				
			うち、自分たちでできること			
					うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15	8	6	5	62.5	
一般家事	8	6	5	4	66.7	
交流でできること	7	3	3	2	66.7	
送迎や外出の付き添い	5	2	0	0	0.0	
趣味・特技を活かして	12	2	1	1	50.0	
紹介・相談・情報提供	3	0	0	0	-	
サービス	10	4	0	0	0.0	
全体	60	25	15	12	48.0	

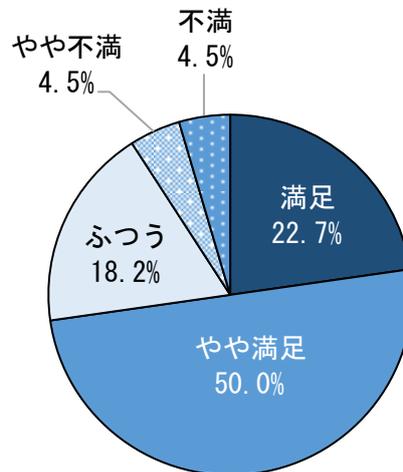
テーブル3	全体	地域の困りごと				
			うち、自分たちでできること			
					うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15	8	6	4	50.0	
一般家事	8	6	5	3	50.0	
交流でできること	7	3	3	2	66.7	
送迎や外出の付き添い	5	2	0	0	0.0	
趣味・特技を活かして	12	1	1	0	0.0	
紹介・相談・情報提供	3	1	0	0	0.0	
サービス	10	3	0	0	0.0	
全体	60	24	15	9	37.5	

## ②アンケート調査結果

### Q 1. 交流会に参加していかがでしたか？

交流会の満足度について、「やや満足」が最も多く 50.0%、次いで「満足」が 22.7%、「ふつう」が 18.2%と続いています。

第 1 回【n=22】



#### <Q 1で「1. 満足」「2. やや満足」と回答した人にお聞きします>

##### Q 1-1. どのようなところが良かったですか。

- ・いろいろなことがわかった。
- ・いろいろ問題が見つかった。今後幅を広げたい。
- ・話を聞いた。
- ・地域のニーズには色々なことがあるのだということが分かって良かったと思います。
- ・手軽にボランティアに参加することがたくさんあると思いました。
- ・楽しかったです。
- ・地区の民生さんや他地区の方と楽しく話すことができました。良い機会でした。
- ・他団体との交流ができてよかった。
- ・ゲームを利用する等の具体性を重視している点。時間が短いのと、メンバーのバラエティ不足がちょっと弱点。
- ・他人と話し合いを持ち、交流に参加して良かった。
- ・いろいろたくさん意見が聞けたところ。

#### <Q 1で「4. やや不満」「5. 不満」と回答した人にお聞きします>

##### Q 1-2. どのようなところが悪かったですか。

- ・地区での活動している人が主旨に応じた対処をできるかどうか疑問。
- ・この交流会の主旨の説明が足りなかった（事前に）。「困り事を話し合う」と聞いていたので、もっと「困っている人」が来ると思っていた（自分は困っている状況を他の人にも知ってほしくて参加した）。

Q 3. 「助け合い」についてどのように感じましたか？

- ・自分でできることはどんどんやっています。
- ・もっとしたいと思います。
- ・どこまで家庭内に入っていいのか。日頃のお付き合いにもよるのではないのでしょうか。
- ・人とのかかわりが薄らいでいる状況で無理強い行動ができない。
- ・皆の心には「お互いさま」の気持ちがあると思う。
- ・自分はこのような場所が必要なことだと思います。
- ・どこまで助けたいのか迷います。
- ・自分ができている人が困っている人に必要とされることは、自分自身のやりがいであったり、喜びと思います。
- ・地域には温かい気持ちを持ち、たくさんの支援をしてくださっている方がいるとわかりました。
- ・自分のできることを積極的にする。
- ・助け合いも個人情報とか、責任とか、難しい時代になり、軽い気持ちでできないようになって残念です。
- ・当然ながら絶対に必要なこと。ただ、具体的活動・利害関係が難しい。
- ・みんな地域で助け合いをしたい。
- ・助け合いをしてあげたいとみんなが思っているので良かったです。

Q 4. 今後、和歌山市で「地域の絆」をつくっていくためには、何が必要だと思いますか？

- ・交流会
- ・絆という言葉は大変に強く、安易に使っている気がする。
- ・お手伝いしてほしいことに、お手伝いをしたい人をマッチングする方法を考えてください。
- ・もっと地域に広めていく必要があると思います。
- ・大勢の方に参加してもらいたいと思います。
- ・日頃のあいさつ、あいさつできる関係性。
- ・横のつながりです。意欲のある方とどうすれば包括や市がつながることができるのか。住民のみなさんの力を発揮できる方法をもっと考えないといけないと思います。
- ・居場所づくり
- ・ボランティア同士の連携が必要だと改めて認識しました。
- ・みんなの絆を作っていくこと。
- ・全員参加できるよう、自治会のあり方など

## (2) 高松・吹上・砂山・今福地区

### ①ワークショップ結果



3テーブルでワークショップを行いました。その合計をみると、地域の困りごとのうちご近所で解決できることは「手軽なお手伝い」が最も多く 68.8%、次いで「交流でできること」が 63.6%、「一般家事」が 58.8%と続いており、全体では 44.4%となっています。

合計	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	45 件	32 件	25 件	22 件	68.8%
一般家事	24 件	17 件	14 件	10 件	58.8%
交流でできること	21 件	11 件	10 件	7 件	63.6%
送迎や外出の付き添い	15 件	15 件	7 件	5 件	33.3%
趣味・特技を活かして	36 件	19 件	15 件	7 件	36.8%
紹介・相談・情報提供	9 件	6 件	6 件	2 件	33.3%
サービス	30 件	24 件	5 件	2 件	8.3%
全体	180 件	124 件	82 件	55 件	44.4%

テーブル1	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	12件	12件	11件	91.7%
一般家事	8件	4件	4件	4件	100.0%
交流でできること	7件	3件	3件	3件	100.0%
送迎や外出の付き添い	5件	5件	3件	3件	60.0%
趣味・特技を活かして	12件	7件	3件	2件	28.6%
紹介・相談・情報提供	3件	2件	2件	0件	0.0%
サービス	10件	7件	1件	1件	14.3%
全体	60件	40件	28件	24件	60.0%

テーブル2	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	9件	6件	6件	66.7%
一般家事	8件	6件	6件	2件	33.3%
交流でできること	7件	4件	3件	2件	50.0%
送迎や外出の付き添い	5件	5件	2件	2件	40.0%
趣味・特技を活かして	12件	5件	5件	5件	100.0%
紹介・相談・情報提供	3件	2件	2件	2件	100.0%
サービス	10件	8件	1件	1件	12.5%
全体	60件	39件	25件	20件	51.3%

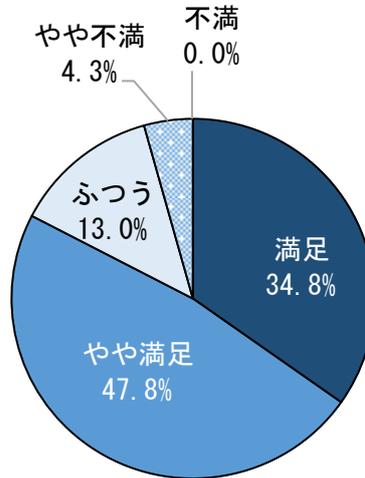
テーブル3	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	11件	7件	5件	45.5%
一般家事	8件	7件	4件	4件	57.1%
交流でできること	7件	4件	4件	2件	50.0%
送迎や外出の付き添い	5件	5件	2件	0件	0.0%
趣味・特技を活かして	12件	7件	7件	0件	0.0%
紹介・相談・情報提供	3件	2件	2件	0件	0.0%
サービス	10件	9件	3件	0件	0.0%
全体	60件	45件	29件	11件	24.4%

## ②アンケート調査結果

### Q 1. 交流会に参加していかがでしたか？

交流会の満足度について、「やや満足」が最も多く 47.8%、次いで「満足」が 34.8%、「ふつう」が 13.0%と続いています。

第 2 回【n=23】



<Q 1で「1. 満足」「2. やや満足」と回答した人にお聞きします>

Q 1-1. どのようなところが良かったですか。

- ・地域の方々の話し合いをしたことがよかったです。いろいろな意見があり、勉強になりました。
- ・こういう方法で自分の出来ること出来ないことを整理できました。これもできると思ったことを隣の人がこれはしてはいけないよと教えてくれました。なるほどと思いました。
- ・地域の人とのつながりの中で自分でも多くの事ができるなあと思いました。これからも多くの方々と交流して自分を成長させたい。
- ・いろいろな課題のあることに改めて考えるようになった。
- ・見直しができたかなあ？
- ・和気あいあいと自由に意見を述べ合った。感想を話し合った。
- ・地域の問題を考える良いひと時でした。
- ・地域の絆に関して少し勉強になりました。
- ・ゲームを介しての絆も良かったです。
- ・他の人の活動・意見が分かって良かった。
- ・地域の皆様の声を聞くことができたこと。
- ・ゲームが楽しかった。
- ・ゲームで楽しく交流できた。
- ・カードにいろいろ書いてあったので、私の知らないことばかりでした。
- ・普段、日常生活の中で気が付かない事がたくさんある事が見えて良かったです。
- ・初めての体験でしたが、こんなに多くの困り事がある事に改めて気づかされました。
- ・自分の発想を広げることができた。

- ・問題抽出方法等、新しいやり方として勉強になりました。解決方法も同じく。

<Q1で「4. やや不満」「5. 不満」と回答した人にお聞きします>

Q1-2. どのようなところが悪かったですか。

- ・地域での悩み、困っていることを相談・討議したかった。

Q3. 「助け合い」についてどのように感じましたか？

- ・協力、思いやり
- ・地域の協力が必要。
- ・ついこれもしてあげたいと思ってしまうのですが、自分の出来る事をよく考えて、こころよく助け合いがよいと思いました。
- ・自分で思っていたよりお世話できることがあると思った。
- ・独居生活者への配慮
- ・自治会、他の役職（民生）でも、後継者がいないので、継続的に活動が難しい。
- ・かたひじはらずにすること。
- ・なかなか出来ない事ですが、認識を新たにしました。
- ・助け合う気持ちがあっても一歩が踏み出しにくい人がたくさんいると思うので、きっかけづくりが大切だと思います。
- ・人の連帯の形成が必要。
- ・出来ることをするだけではなく、出来ることや人を探すことにかえること。
- ・共助・互助の大切さをあらためて感じました。
- ・私もカードを取ってみて、してほしい事がたくさんあり、こんなにいろいろな事があるのだと思った。
- ・現実を考えると難しい。
- ・今後ますます必要になると思う。
- ・自分の出来る事を相手の気持ちに立って行動するという事が大切だと感じました。
- ・沢山の事柄があってびっくりするのと自分がしたいというのかできそうな事が少ないと気づきました。
- ・積極的に声をかけや助けをする事が必要だと思いました。
- ・「助け合う」という意識が芽生える土台作りが先かなと思いました。

Q4. 今後、和歌山市で「地域の絆」をつくっていくためには、何が必要だと思いますか？

- ・各種団体の協力
- ・自分で頑張って家で生活できるような手助けをもっと考えてほしい。自分の家で生活できるだけしたい。
- ・特にスーパーシニアの方々の社会生活
- ・個人の意識の向上、そのための学習会。
- ・昔の言葉となっていますが、「向こう三軒両隣」が一番必要と感じた。
- ・まさに地域の絆だと思いました。
- ・他人に対する思いやりや関心を大切にしていきたいです。

- ・手話ができたら良かったのと思う。小学生時代に手話を伝えたら。
- ・具体的・現実可能な提案を出してもらいたい。
- ・コミュニティセンターの活用・イベント。区制の導入。
- ・誰もが参加できる、様々な形での集まりを作ること。年齢を越えた集まりを作ること。
- ・となり近所のこと。無関心にならない。
- ・今日も集ってくださっている方がほぼ現役を退かれていると思われる。もう少し若い世代も参加できるような。
- ・市と市民の連携
- ・老人の「いこいの場」があればと思います。コーヒーを気軽に飲めるような場。
- ・地域愛
- ・地域のコミュニケーションを作っておかなければ絆という所に至るには遠いような気がします。
- ・個人では出来ないことにもっとこのような活動があることをアピールする。知らせることが必要では。
- ・顔見知りになるチャンスが増えるといいと思います（深く付き合うということを目指す前に）。

### (3) 大新・新南・広瀬・芦原地区

#### ①ワークショップ結果



1テーブルでワークショップを行いました。地域の困りごとのうちご近所で解決できることは「一般家事」と「趣味・特技を活かして」が100.0%で、全体では50.0%となっています。

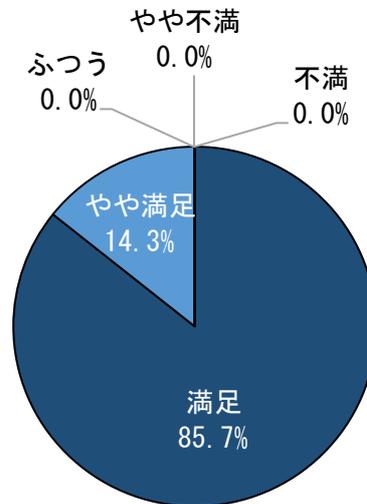
テーブル1	全体	地域の困りごと			
		うち、自分たちでできること			
		うち、ご近所でできること			
手軽なお手伝い	15件	9件	7件	7件	77.8%
一般家事	8件	1件	1件	1件	100.0%
交流でできること	7件	5件	4件	1件	20.0%
送迎や外出の付き添い	5件	0件	0件	0件	-
趣味・特技を活かして	12件	4件	4件	4件	100.0%
紹介・相談・情報提供	3件	3件	2件	1件	33.3%
サービス	10件	6件	0件	0件	0.0%
全体	60件	28件	18件	14件	50.0%

## ②アンケート調査結果

### Q 1. 交流会に参加していかがでしたか？

交流会の満足度について、「満足」が最も多く 85.7%、次いで「やや満足」が 14.3%となっています。

第3回【n=7】



### <Q 1で「1. 満足」「2. やや満足」と回答した人にお聞きします>

#### Q 1-1. どのようなところが良かったですか。

- ・カードのゲームがわかりやすかった。
- ・カードを使ったゲーム形式で、頭を悩ますことが少ないのでよかった。
- ・日頃の声かけ
- ・全部良かったです。
- ・身近な問題、困り事など話し合えた。
- ・カードがあると頭の中で考えていることがうまく表現できない時に助かった。

### Q 3. 「助け合い」についてどのように感じましたか？

- ・無理なく助け合うことが大切だと思う。
- ・近助、近所の助け合いが必要。
- ・近所のお付き合いの大切さ。
- ・ご近所でのお付き合い
- ・日頃のお付き合いを大切にして、いざという時に助け合えるようにしたい。
- ・やはり基本的には両隣とのお付き合い、日頃のかかわりが大切。そこから少しずつ広がっていくと思います。

### Q 4. 今後、和歌山市で「地域の絆」をつかっていくためには、何が重要だと思いますか？

- ・近所付き合いをもっと多くしていくことが絆の第一歩であると思う。
- ・新南地区として行政区と学校区の統一。
- ・日頃の近所のお付き合いが大切。

- ・皆さんとのコミュニケーションが大切です。
- ・地域（自治会）の行事を行い、大切にしたい。
- ・今日みたいな感じの会なら、とても参加しやすいと思います。気軽に参加できることを私たちが発信することが必要だと思いました。

## (4) 貴志・野崎・湊・楠見地区

### ①ワークショップ結果



3テーブルでワークショップを行いました。その合計をみると、地域の困りごとのうちご近所で解決できることは「一般家事」が最も多く 92.9%、次いで「手軽なお手伝い」が 75.0%、「交流でできること」が 38.5%と続いており、全体では 45.8%となっています。

合計	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	45 件	28 件	24 件	21 件	75.0%
一般家事	24 件	14 件	13 件	13 件	92.9%
交流でできること	21 件	13 件	8 件	5 件	38.5%
送迎や外出の付き添い	15 件	8 件	2 件	1 件	12.5%
趣味・特技を活かして	36 件	17 件	13 件	6 件	35.3%
紹介・相談・情報提供	9 件	8 件	3 件	3 件	37.5%
サービス	30 件	19 件	2 件	0 件	0.0%
全体	180 件	107 件	65 件	49 件	45.8%

テーブル1	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	15件	13件	13件	86.7%
一般家事	8件	8件	8件	8件	100.0%
交流でできること	7件	7件	3件	3件	42.9%
送迎や外出の付き添い	5件	5件	1件	1件	20.0%
趣味・特技を活かして	12件	12件	10件	6件	50.0%
紹介・相談・情報提供	3件	3件	0件	0件	0.0%
サービス	10件	9件	0件	0件	0.0%
全体	60件	59件	35件	31件	52.5%

テーブル2	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	5件	4件	2件	40.0%
一般家事	8件	3件	2件	2件	66.7%
交流でできること	7件	3件	2件	1件	33.3%
送迎や外出の付き添い	5件	1件	0件	0件	0.0%
趣味・特技を活かして	12件	4件	2件	0件	0.0%
紹介・相談・情報提供	3件	3件	2件	2件	66.7%
サービス	10件	4件	2件	0件	0.0%
全体	60件	23件	14件	7件	30.4%

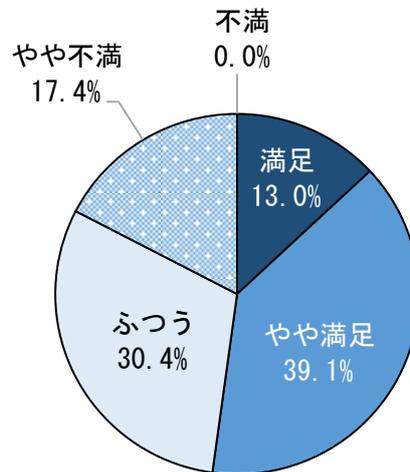
テーブル3	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	8件	7件	6件	75.0%
一般家事	8件	3件	3件	3件	100.0%
交流でできること	7件	3件	3件	1件	33.3%
送迎や外出の付き添い	5件	2件	1件	0件	0.0%
趣味・特技を活かして	12件	1件	1件	0件	0.0%
紹介・相談・情報提供	3件	2件	1件	1件	50.0%
サービス	10件	6件	0件	0件	0.0%
全体	60件	25件	16件	11件	44.0%

## ②アンケート調査結果

### Q 1. 交流会に参加していかがでしたか？

交流会の満足度について、「やや満足」が最も多く 39.1%、ついで「ふつう」が 30.4%、「満足」が 13.0%と続いています。

第 4 回【n=23】



### <Q 1で「1. 満足」「2. やや満足」と回答した人にお聞きします>

#### Q 1-1. どのようなところが良かったですか。

- ・自分がどのようなことに参加できるか考えることができた。
- ・初対面の方ともお話しははずむものだなあと思いました。
- ・カードを選ぶ事によって、本気で考えられるように思いました。
- ・他地域の人と悩みなどを聞いて同じような悩みだったです。
- ・自分が役立つことがたくさんあることに気づけさせてもらった。
- ・初対面の方と色々な事について話し合いができた。
- ・初めて会った人と意見を交換でき、よかった。改めて自分でできそうな事を知る事ができた。
- ・公助、協助、自助の気づきのきっかけづくりになる。もう少し突っ込んだ話し合いができれば良いと思った。
- ・地域での問題点が良くわかりました。
- ・楽しく交流できたことがうれしかった。
- ・地域のこれからの対策について話し合える。
- ・手助けできる事が見つかった。

### <Q 1で「4. やや不満」「5. 不満」と回答した人にお聞きします>

#### Q 1-2. どのようなところが悪かったですか。

- ・参加人数が少ないとはショックです。若い方がいない。この交流会を知っている方はいたのでしょうか。
- ・ある程度の結論を出すには時間が足りない。

- ・目的が今一つ不明確で合った。
- ・集まった人が少ない！我が地区は声かけがなかった！！

Q3. 「助け合い」についてどのように感じましたか？

- ・今、自分ができることを進んでやっていく。助け合いがなければ成り立たない。地域での取り組み方に重点を置く。
- ・他人のお手伝いどこまで入り込んでいいのか迷っています。
- ・助け合いは大切ですが、どの世代も生活に余裕がなくなっている中で、それをするのは危険だと思います。
- ・もっと近所の人との付き合いをしなければ。
- ・なかなか自分で行うことは難しく感じました。
- ・地域で助けられる事は、如何に本人がまわりと関わっているかで決まる。
- ・真剣に考えれば考える程、できる事、できない事の判別が難しいなと思いました。
- ・助け合いは良い事だとはわかっているけど、社会のしくみが難しくなっていて、今後も大変だなと思います。
- ・ご近所の人と少しでも助け合っていけたらと思いました。
- ・非常に大切なことではあるが、十人十色。難しいこと。
- ・必要不可欠だと常日頃感じている。
- ・現実問題として、どこまで出来るのか、どこまでやれるのか、Yes, Noでは割り切れない。
- ・意外にできる事、意外にできない事、絆づくりは日頃のご近所との付き合いが大切。
- ・気持ちはあるが、行動するには勇気が必要です。
- ・このように考えるとご近所で助け合いできる事が多い。
- ・自分の都合のいい時間帯が少ない人でも、参加できる助け合いをすることが大切。
- ・まず自分の事を考えていましたが、まわりの事も見ていきたいです。
- ・人との信頼がないとできない事と思う。
- ・今日、集まられた方は問題がないと考えますが、今日のような交流会に来られなかった方々が心配です。
- ・大切だと思いました。
- ・良い事だと思います。
- ・積極的に助け合えるようになること。

Q4. 今後、和歌山市で「地域の絆」をつくっていくためには、何が必要だと思いますか？

- ・参加できるように導いていくこと。
- ・まずは、生活の基盤を「公」がしっかり保障すること。安心、安定が得られれば、人はみんな優しい気持ちを発揮できると思います。
- ・お互いに許し合う気持ち。
- ・お金、アドバイス
- ・先ず自ら行動する事がポイントであると思っている。

- ・人の輪、意識の向上
- ・もっともっと絆づくりは話し合いの場が必要。
- ・ご近所での絆を大切にしたい。
- ・あいさつ、会話、集まり
- ・人が集まる場所を多く作っていくようにしたい。
- ・地域には自治会、公民館、老人会等の活動があり、それぞれの取組みが進められていますが、全体を見渡せる活動体があるのでしょうか？あればもっとPRしてほしい。
- ・勉強会、説明会、講演会などでの教育
- ・地域の方の協力が必要と思いました。
- ・となり近所の対話が必要かと思います。
- ・このような会があるとよい。

## (5) 有功・直川・紀伊・川永・山口地区

### ①ワークショップ結果



3テーブルでワークショップを行いました。その合計をみると、地域の困りごとのうちご近所で解決できることは「一般家事」が最も多く 66.7%、次いで「紹介・相談・情報提供」が 50.0%、「趣味・特技を活かして」が 47.1%と続いており、全体では 32.4%となっています。

合計	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	45 件	26 件	21 件	12 件	46.2%
一般家事	24 件	15 件	10 件	10 件	66.7%
交流でできること	21 件	13 件	11 件	1 件	7.7%
送迎や外出の付き添い	15 件	9 件	3 件	1 件	11.1%
趣味・特技を活かして	36 件	17 件	17 件	8 件	47.1%
紹介・相談・情報提供	9 件	6 件	3 件	3 件	50.0%
サービス	30 件	22 件	0 件	0 件	0.0%
全体	180 件	108 件	65 件	35 件	32.4%

テーブル1	全体	地域の困りごと				
			うち、自分たちでできること			
				うち、ご近所でできること		
手軽なお手伝い	15件	8件	5件	3件	37.5%	
一般家事	8件	4件	2件	2件	50.0%	
交流でできること	7件	3件	2件	0件	0.0%	
送迎や外出の付き添い	5件	2件	1件	0件	0.0%	
趣味・特技を活かして	12件	4件	4件	1件	25.0%	
紹介・相談・情報提供	3件	1件	0件	0件	0.0%	
サービス	10件	7件	0件	0件	0.0%	
全体	60件	29件	14件	6件	20.7%	

テーブル2	全体	地域の困りごと				
			うち、自分たちでできること			
				うち、ご近所でできること		
手軽なお手伝い	15件	7件	7件	1件	14.3%	
一般家事	8件	5件	2件	2件	40.0%	
交流でできること	7件	6件	6件	1件	16.7%	
送迎や外出の付き添い	5件	3件	1件	0件	0.0%	
趣味・特技を活かして	12件	7件	7件	2件	28.6%	
紹介・相談・情報提供	3件	3件	1件	1件	33.3%	
サービス	10件	6件	0件	0件	0.0%	
全体	60件	37件	24件	7件	18.9%	

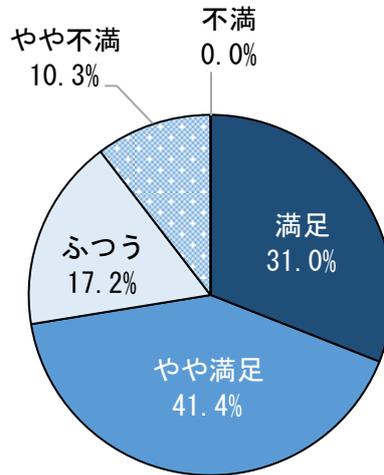
テーブル3	全体	地域の困りごと				
			うち、自分たちでできること			
				うち、ご近所でできること		
手軽なお手伝い	15件	11件	9件	8件	72.7%	
一般家事	8件	6件	6件	6件	100.0%	
交流でできること	7件	4件	3件	0件	0.0%	
送迎や外出の付き添い	5件	4件	1件	1件	25.0%	
趣味・特技を活かして	12件	6件	6件	5件	83.3%	
紹介・相談・情報提供	3件	2件	2件	2件	100.0%	
サービス	10件	9件	0件	0件	0.0%	
全体	60件	42件	27件	22件	52.4%	

## ②アンケート調査結果

### Q 1. 交流会に参加していかがでしたか？

交流会の満足度について、「やや満足」が41.4%、次いで「満足」が31.0%、「ふつう」が17.2%と続いています。

第5回【n=29】



<Q 1で「1. 満足」「2. やや満足」と回答した人にお聞きします>

Q 1-1. どのようなところが良かったですか。

- ・住民(自治会)の方々がどのようにして課題を考えられ、解決しようと考えられておられるのか知れました。
- ・ゲーム感覚で楽しみながらグループで会話できたところ
- ・皆さんと問題を楽しく過ごさせていただきました。
- ・ゲーム形式で楽しくいろんな意見が聞けたところ。
- ・同じテーブルのメンバーと楽しくできた。
- ・カードゲームを通じて、自分の特性等を改めて知ることができた。
- ・カードゲームが良かった。
- ・グループの方々と楽しく触れ合えた。
- ・カードゲームに従って楽しく学べたこと。人を助けることは自分も助けることだと気づきました。
- ・人の事をするには楽しくなければなりません。今日の交流会で、ボランティアを楽しくできそうです。
- ・カードゲームを通じてどういう活動ができるのか、どういう人がいるのか、いろんな情報を知ることができた。
- ・カードを通じて地域や自分の周辺の問題について楽しく話し合うことが出来ました。
- ・困っている事の掘り起こしになりました。
- ・みんなで話し合いながら課題を共有していくことができた。
- ・カードなどでの参加は初めてでしたので勉強になりました。
- ・皆さんで感じていることもそれぞれですが、ボランティア精神を持っている方が多数いることを感じました。

- ・カードゲームで和やかに話し合いができた様に感じました。また、いろいろな価値観が存在し、でもお互いの自助、共助の新しい視点が見つかったような気がしました。ありがとうございます。
- ・会の進め方は良かったが、参加者は民生委員が多かったので、カードの内容が自分たちに相談されていることが多かった。
- ・カードを使うことにより、自分の思いを引き出すことができた。周りの方の思いもカードを通じて知ることができてよかった。
- ・困りごとなど、それぞれのお考えを聞くことができ見直すことができた。
- ・グループでの話し合いがスムーズに進み、楽しいゲーム進行となりました。

<Q1で「4. やや不満」「5. 不満」と回答した人にお聞きします>

Q1-2. どのようなところが悪かったですか。

- ・内容は良かったのですが、もう少し多くの住民に来てもらえたほうが良かったと思います(一緒に参加した方が同じグループ)。
- ・参加者が現職の民生委員や施設の職員さんが殆どであった。地域の住民に参加を呼び掛けてはどうか？
- ・確かに内容が具体的に明示されていて良かったが、いくつかの案の提案もしてほしい。もっと人も集めるように。

Q3. 「助け合い」についてどのように感じましたか？

- ・助け合いが出来そうなことは沢山あると知れました。出来そうだが出来ない事も沢山あることを知れました。
- ・日頃からの交友関係でいざというときに支え合えること。
- ・短い期間でできるものではないが、まずはお互いの事を知ることが大事である。
- ・困っている人も、援助できる人もそれぞれもう少し気楽に発信することが必要ではと思いました。
- ・大切ではあるが率先する1歩のきっかけをどうするかお互い考える必要があると思います。
- ・皆で協力すれば、ほぼ助け合いが出来るのでは？
- ・地域の中で問題を発掘して、その問題について対応していくことが大切。
- ・必要と思うが、意識改革も必要。広報活動。
- ・地区での活動が大切だと思いました。団体の方が多く場違いに思いました。
- ・気軽にできる助け合いに参加できる。
- ・何にでも楽しくをモットーに。
- ・助け合いは人間の基本です。
- ・仕事で出来る事、個人が出来ることが大きく違い、家族の協力があることは家族の理解が必要で、すぐに何でも出来るとは言えないと感じました。
- ・個人、自治会、ボランティア、営利、行政等、様々な種類から出来る事をしていければと思います。
- ・自助、共助、近助。特に近助の力が大切である。
- ・協力する気持ちがあっても中心になって立ち上げ。実施することには難しい。
- ・有功地区では「ほっとタウン」での助け合いをしているので。
- ・もっと他人の人とかかわりをもっていけるようにしたほうがいいと思います。

- ・お互い様です。
- ・基本的には隣近所の物理的な距離が近いという生活範囲内では助け合いが成り立ちやすいのかなと感じました。
- ・まず、自分に何ができるかを意識すること。
- ・地域内での助け合いの必要性を気付かされた。
- ・皆さん、助け合いをしなければいけないという考え、気持ちを持っていますが、何をどうしたらいいのかスタートが難しいと感じました。

Q 4. 今後、和歌山市で「地域の絆」をつくっていくためには、何が重要だと思いますか？

- ・行政内で包括支援課との縦割りを無くし、共働できればと思います。
- ・このような活動が必要であることをまずは知ってもらうこと。
- ・日頃の付き合いがある方同士の信頼関係。
- ・地域住民の参加
- ・できるだけ多くの方の素直な声を吸い上げてください。
- ・今日参加したような方が一人でも多く地域の中で増やしていくことが大切。
- ・広報活動
- ・楽しく明るく生きること。
- ・このような機会を広報して参加者を多くしては？
- ・民生、社協、包括。他ではなく、地域の人をどのように集め、絆づくり交流会をしていくかが重要だと思います。
- ・このような交流会は続けてくれたらと思います。
- ・このような機会は重要だと思います。
- ・いろんな方々で参加型のイベントなども。
- ・小さな関心をいかに持つか。
- ・近所付き合いが必要。
- ・交流の機会を多く作っていく。
- ・このような機会が増やされること。
- ・福祉は人が動かないとできない。机上だけでは住民の満足はない。

## (6) 雄湊・城北・本町・中之島地区

### ①ワークショップ結果



2テーブルでワークショップを行いました。その合計をみると、地域の困りごとのうちご近所で解決できることは「一般家事」が最も多く40.0%、次いで「交流でできること」が28.6%と続いており、全体では12.0%となっています。

合計	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	30件	9件	6件	0件	0.0%
一般家事	16件	5件	5件	2件	40.0%
交流でできること	14件	7件	5件	2件	28.6%
送迎や外出の付き添い	10件	4件	2件	1件	25.0%
趣味・特技を活かして	24件	10件	3件	0件	0.0%
紹介・相談・情報提供	6件	4件	1件	1件	25.0%
サービス	20件	11件	2件	0件	0.0%
全体	120件	50件	24件	6件	12.0%

テーブル1	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	5件	4件	0件	0.0%
一般家事	8件	1件	1件	0件	0.0%
交流でできること	7件	3件	1件	1件	33.3%
送迎や外出の付き添い	5件	2件	0件	0件	0.0%
趣味・特技を活かして	12件	4件	0件	0件	0.0%
紹介・相談・情報提供	3件	2件	1件	1件	50.0%
サービス	10件	8件	2件	0件	0.0%
全体	60件	25件	9件	2件	8.0%

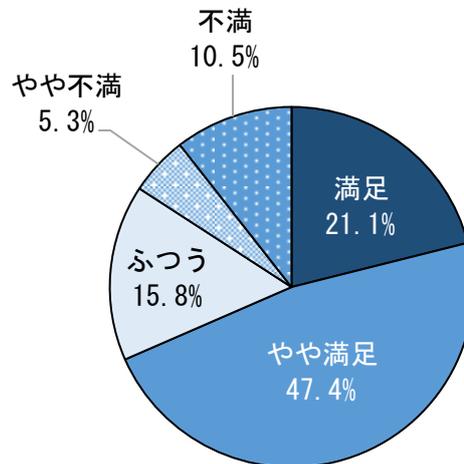
テーブル2	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	4件	2件	0件	0.0%
一般家事	8件	4件	4件	2件	50.0%
交流でできること	7件	4件	4件	1件	25.0%
送迎や外出の付き添い	5件	2件	2件	1件	50.0%
趣味・特技を活かして	12件	6件	3件	0件	0.0%
紹介・相談・情報提供	3件	2件	0件	0件	0.0%
サービス	10件	3件	0件	0件	0.0%
全体	60件	25件	15件	4件	16.0%

## ②アンケート調査結果

### Q 1. 交流会に参加していかがでしたか？

交流会の満足度について、「やや満足」が最も多く 47.4%、次いで「満足」が 21.1%、「ふつう」が 15.8%と続いています。

第 6 回【n=19】



### <Q 1で「1. 満足」「2. やや満足」と回答した人にお聞きします>

#### Q 1-1. どのようなところが良かったですか。

- ・皆さんの意見や活動等が聞くことができてよかった。
- ・地域においてもやればよいと思う。
- ・参加者の方々の活動がお互いに知れてよかった。
- ・積極的な意見が聞けて、大変勉強になりました。
- ・問題点について説明できました。
- ・自分の最近の持ちを話せた。
- ・沢山の意見が聞けた事、今必要なことで私たちに何が出来るか持ち帰り、これからの参考にしたいと思います。
- ・繋がりづくり
- ・改めて、活動されている方が多い。
- ・それぞれの悩みを聞くことが出来ました。
- ・各々の問題のあり方がわかりました。
- ・いろんな立場の人と話せた。

### <Q 1で「4. やや不満」「5. 不満」と回答した人にお聞きします>

#### Q 1-2. どのようなところが悪かったですか。

- ・話し合われた意見を主催側が記録していない。どのように地域福祉計画に反映されるのかわからない。これまでの地域福祉計画について説明が欲しかった。
- ・作られた交流会だから。
- ・意見を聞いてほしい。内容的に思っていたのと違う。

Q3. 「助け合い」についてどのように感じましたか？

- ・日頃から近所の付き合いが必要。
- ・常に見守り。助けられるところは助けてたい。
- ・いつ、いかなる時も人と人の絆を感じて、即、助け合いのできる人が増えることを願います。
- ・誰や、どこに言って良いかわからない。
- ・今迄色々ボランティアをやってきましたが、もっと時間が欲しい。
- ・参加された方々はとてもボランティアを考えていらっしゃる方たちが集まって良かったと思います。
- ・ボランティアはもちろんのこと、市がもっと活発に活動の呼びかけをしなければ。和歌山はまだまだ田舎だと思うので上手にボランティア等、NPO等を使ってほしい。
- ・自治会、地域よりもテーマ型のボランティアの方の参加者が多かった。従来の自治会活動と「助け合い」が結びついていない。
- ・ぜひ必要。広げていきたい。
- ・コミュニケーションが必要。
- ・大切なこと。
- ・必要性を感じた。
- ・みんなの心の在り方が必要。
- ・頑張る。
- ・今後ますます必要になると思う。

Q4. 今後、和歌山市で「地域の絆」をつくっていくためには、何が必要だと思いますか？

- ・日頃から地域の人々との交流が必要。
- ・こんな絆づくりは本当にいいと思う。
- ・本日の参加者数を見て絆に対する関心の薄さが現れています。もっと広く知らせてください。
- ・思いやりと、地域に積極的に関わっていくことが大切です。
- ・どんなことについてもコミュニケーションを。時間が少ない。
- ・色々な会に参加すること。
- ・地域への心配りをもっとしていかなければと思いました。
- ・地域の新聞の発行、自治会のマップ、HP、SNSでの発信。
- ・話し合い
- ・信頼、交流
- ・コミュニケーション
- ・各地区、個人とのコミュニケーション
- ・人の心
- ・皆の思いやりの心を育てたい。
- ・理解すること。
- ・一人一人の話を聞く。
- ・情報の発信、交流会。

## (7) 名草・和歌浦・雑賀・雑賀崎・田野地区

### ①ワークショップ結果



3テーブルでワークショップを行いました。その合計をみると、地域の困りごとのうちご近所で解決できることは「交流でできること」が最も多く44.4%、次いで「紹介・相談・情報提供」が14.3%、「趣味・特技を活かして」が8.3%と続いており、全体では8.8%となっています。

合計	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	45件	30件	26件	2件	6.7%
一般家事	24件	13件	9件	0件	0.0%
交流でできること	21件	9件	8件	4件	44.4%
送迎や外出の付き添い	15件	8件	0件	0件	0.0%
趣味・特技を活かして	36件	24件	14件	2件	8.3%
紹介・相談・情報提供	9件	7件	1件	1件	14.3%
サービス	30件	11件	0件	0件	0.0%
全体	180件	102件	58件	9件	8.8%

テーブル1	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	12件	8件	2件	16.7%
一般家事	8件	6件	6件	0件	0.0%
交流でできること	7件	4件	3件	3件	75.0%
送迎や外出の付き添い	5件	4件	0件	0件	0.0%
趣味・特技を活かして	12件	10件	8件	2件	20.0%
紹介・相談・情報提供	3件	2件	1件	1件	50.0%
サービス	10件	2件	0件	0件	0.0%
全体	60件	40件	26件	8件	20.0%

テーブル2	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	10件	10件	0件	0.0%
一般家事	8件	3件	0件	0件	0.0%
交流でできること	7件	1件	1件	0件	0.0%
送迎や外出の付き添い	5件	2件	0件	0件	0.0%
趣味・特技を活かして	12件	6件	2件	0件	0.0%
紹介・相談・情報提供	3件	3件	0件	0件	0.0%
サービス	10件	8件	0件	0件	0.0%
全体	60件	33件	13件	0件	0.0%

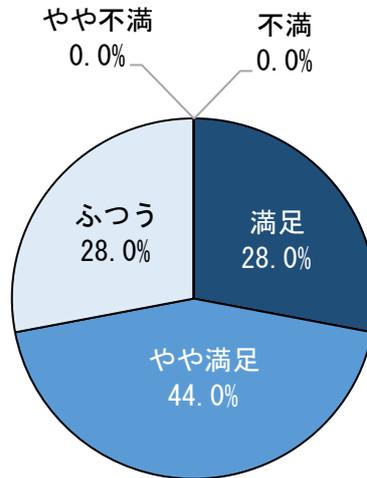
テーブル3	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	8件	8件	0件	0.0%
一般家事	8件	4件	3件	0件	0.0%
交流でできること	7件	4件	4件	1件	25.0%
送迎や外出の付き添い	5件	2件	0件	0件	0.0%
趣味・特技を活かして	12件	8件	4件	0件	0.0%
紹介・相談・情報提供	3件	2件	0件	0件	0.0%
サービス	10件	1件	0件	0件	0.0%
全体	60件	29件	19件	1件	3.4%

## ②アンケート調査結果

### Q 1. 交流会に参加していかがでしたか？

交流会の満足度について、「やや満足」が最も多く 44.0%、次いで「満足」「ふつう」が 28.0%となっています。

第 7 回【n=25】



<Q 1で「1. 満足」「2. やや満足」と回答した人にお聞きします>

Q 1-1. どのようなところが良かったですか。

- ・それぞれの意見を出し合うことができた。
- ・カードを使ったことは良かったと思います。
- ・皆さんといい話が出来てよかった。
- ・意識の再確認ができたところ。
- ・カードを選んで、自分を再確認。
- ・自分の気持ちが表せたように思います。
- ・他人のいろいろな困りごとが聞けた。
- ・地域の人声が聞けて良かったです。
- ・地域や自分の活動がカードを通じての課題につながった。
- ・自分で何が出来るかを気付かせてもらいました。
- ・自分の頭の中のイメージが整理付いてきました。
- ・ゲームをする中で楽しく意見交換ができた。
- ・ゲームをしながら話すことによって楽しく、かつ、本当に必要かが良く分かった。
- ・大体が民生委員の活動内容に重なっているので理解しやすかった。
- ・他地区の方々のボランティア活動に熱心に取り組んでいる。
- ・各分野での問題点が良く分かったように思います。
- ・地域で活動している人を知ることができた。

Q3. 「助け合い」についてどのように感じましたか？

- ・意思の疎通。定期的に述べ合うことの必要性。
- ・お互いが、できますよ、してくださいといった声が出しにくい。常に近所の方々とのお話が必要だと思います。
- ・皆さんいろいろと助け合いをしてるんだなと思いました。
- ・地域での助け合いのむずかしさを改めて実感しました。
- ・ボランティア希望が多いが、参加者は少ない。どうやってボランティアをしてくれる人を探すのか。
- ・簡単なところから何でも出来ると感じました。
- ・近頃、となりに越してきても挨拶もしないし、近所をまわって歩くと知らぬ間に引っ越してきておはようもないとよく耳にします。
- ・民生委員として活動中なので、再認識をしました。
- ・防災会の活動を通じて地域の活性化を図る。
- ・自分のできることからやっけていこうと感じました。
- ・このような会にて色々な地域の方や、事業所の方と出会い、課題を共有することは大事だと思った。
- ・大切なことだと思います。
- ・多種多様な事柄があることがわかりました。
- ・地域でできることが多くあると思いました。
- ・言葉で表すのは簡単ですが、本当に助け合うことは大切だと感じました。
- ・どこまで手伝って良いものか？分かりやすい方法は何か？
- ・台風 21 号の被害で近所の話し合いが大切です。
- ・人間社会では一人では生きていけません。お互いに助け合う心が必要です。
- ・現在は個人主義的であるため助け合いの希薄さを感じます。
- ・役をしている人以外に地域ぐるみが必要。

Q4. 今後、和歌山市で「地域の絆」をつくっていくためには、何が必要だと思いますか？

- ・多数の参加者が必要。マンネリにならないように。
- ・地域の方々が集まりやすい場所の提供が必要かと思います。
- ・皆さんの気持ち次第だと思います。
- ・自治会に若い方が参加しやすくしてほしい。ご提案等お願いします。
- ・向こう 3 件両隣の意識をつける方法を考えてください。
- ・地域、人間関係のつながり
- ・ここに出てきた人ではなく、もっと地域の人たちの出る場所が出来たらいいと思います。
- ・せめてあいさつ運動
- ・Q & A の事例を出して、相談しやすい体制を考えた方がいいと思います。
- ・12/16 に避難活動を行いますので、こうしたことを通じて絆を大切に。
- ・このような会をもっと開いてほしいです。
- ・顔の見える関係、集まれる場所。
- ・若い人の参加で活性化。

- ・それぞれが自覚をもって互いに助け合うことを常に持つこと。みんなと仲良くすること。
- ・顔を合わせて話すことのできる場所づくり。
- ・このような話し合いの場を設けて、顔を合わせて話し合うことが必要。
- ・交流の場が必要。
- ・多くの情報交換。
- ・絆が大切。
- ・地域管内での日ごろの活動の少なさによる地域希薄さが大きいと思います。
- ・地域ぐるみの活動を各自認識することが必要。
- ・自治会活動の活性化。

## (8) 加太・西脇・木本・松江地区

### ①ワークショップ結果



2テーブルでワークショップを行いました。その合計をみると、地域の困りごとのうちご近所で解決できることは「手軽なお手伝い」が最も多く 50.0%、次いで「交流でできること」が 28.6%で、全体では 13.1%となっています。

合計	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	30 件	12 件	9 件	6 件	50.0%
一般家事	16 件	5 件	5 件	0 件	0.0%
交流でできること	14 件	7 件	6 件	2 件	28.6%
送迎や外出の付き添い	10 件	6 件	3 件	0 件	0.0%
趣味・特技を活かして	24 件	15 件	11 件	0 件	0.0%
紹介・相談・情報提供	6 件	3 件	1 件	0 件	0.0%
サービス	20 件	13 件	1 件	0 件	0.0%
全体	120 件	61 件	36 件	8 件	13.1%

テーブル1	全体	地域の困りごと				
			うち、自分たちでできること			
				うち、ご近所でできること		
手軽なお手伝い	15件	3件	2件	1件	33.3%	
一般家事	8件	2件	2件	0件	0.0%	
交流でできること	7件	2件	2件	0件	0.0%	
送迎や外出の付き添い	5件	3件	3件	0件	0.0%	
趣味・特技を活かして	12件	6件	5件	0件	0.0%	
紹介・相談・情報提供	3件	1件	0件	0件	0.0%	
サービス	10件	7件	1件	0件	0.0%	
全体	60件	24件	15件	1件	4.2%	

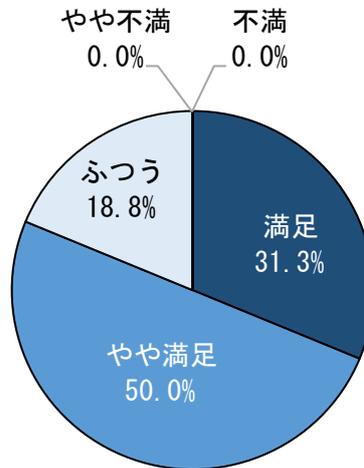
テーブル2	全体	地域の困りごと				
			うち、自分たちでできること			
				うち、ご近所でできること		
手軽なお手伝い	15件	9件	7件	5件	55.6%	
一般家事	8件	3件	3件	0件	0.0%	
交流でできること	7件	5件	4件	2件	40.0%	
送迎や外出の付き添い	5件	3件	0件	0件	0.0%	
趣味・特技を活かして	12件	9件	6件	0件	0.0%	
紹介・相談・情報提供	3件	2件	1件	0件	0.0%	
サービス	10件	6件	0件	0件	0.0%	
全体	60件	37件	21件	7件	18.9%	

## ②アンケート調査結果

### Q 1. 交流会に参加していかがでしたか？

交流会の満足度について、「やや満足」が最も多く 50.0%、次いで「満足」が 31.3%、「ふつう」が 18.8% となっています。

第 8 回【n=16】



### <Q 1で「1. 満足」「2. やや満足」と回答した人にお聞きします>

#### Q 1-1. どのようなところが良かったですか。

- ・地域の絆づくりで、ボランティアで参加しているが幅広く聞けたのが良かった。
- ・問題点を再度確認できた。
- ・ゲーム感覚で楽しめたこと。
- ・困ったことでも話し合うと解決できると思いました。
- ・ゲーム感覚で自分が今困っていたり、出来る事を再確認できた点。
- ・ゲーム感覚であること。
- ・楽しくゲーム感覚でできたこと。
- ・一人一人が意見を出し、話し合いができた事。情報が聞けたことが良かったです。
- ・他地区の方々と情報交換できた。
- ・グループで討議することにより、いろんな意見が聞けた。
- ・日頃思っていることなど、カードで話し合えた。
- ・困っている案件をブレインストーミング式で話し合い、今回の分類で仕分けし、対応することで活動がさらに明確になると感じた。

#### Q 3. 「助け合い」についてどのように感じましたか？

- ・自分で助け合い出来なくてもいろいろお手伝いしていただける方を聞いてみるといいと思いました。
- ・わかっていてなかなかできないこと。
- ・助けを求めている人の集計をして助けを出来る人との接合も必要。
- ・最初に話し合うきっかけが大切だと思いました。

- ・人は誰かと関わらなければ生きていけないと思うので、ほかの人に助けられたり助けたりすることは非常に重要だと感じた。
- ・自助共助は不可欠と思います。
- ・お互い助け合い、支え合いの大切さ。
- ・自分ができることについては皆さん積極的で、ここに来られている方はできるだけ助けたいという意欲にあふれていました。
- ・自治会でも一人多く地域の行事に参加できるように増えるように思っています。
- ・何でも頼める人間関係が必要。そのための絆づくりが住だと思う。
- ・大勢の人がいい人であればできるかなと感じました。
- ・それぞれのやさしさが大切。
- ・今から地域の助け合いが大切と感じました。
- ・老人クラブでは地域で助け合い運動を行っている。
- ・地域のつながりは大切である。

Q 4. 今後、和歌山市で「地域の絆」をつくっていくためには、何が必要だと思いますか？

- ・参加者が少なかった。このようなところから理解を深めていくこと。
- ・人が集まって話し合う機会を募ることが必要と思います。
- ・話しやすい場の作り方。
- ・市、自治会、ボランティア、地域の助け合い。
- ・今日の様なセミナーにはやや強制的な参加の促し方。
- ・個々の声も大切だが、個人責任を考えてほしい。
- ・できるだけ行事等に参加し、みんなと仲良くなって地域の情報を集めていくことが絆に繋がっていくと思います。
- ・出来るだけ多くの組織団体等の参加。又は、一人住まいの方に参加いただき、現実の意見を聞くことも大切だと思います。
- ・地域の広がり、つながりだと思います。いろいろな人に声掛けなど。
- ・行政と地域の連携。
- ・できるだけ多くの方が参加できるようなPRが必要です。
- ・近所付き合いをよくする。

## (9) 宮北・宮・宮前地区

### ①ワークショップ結果



2テーブルでワークショップを行いました。その合計をみると、地域の困りごとのうちご近所で解決できることは「交流でできること」が最も多く70.0%、次いで「趣味・特技を活かして」が56.3%、「一般家事」が53.8%と続いており、全体では39.8%となっています。

合計	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	30件	22件	15件	11件	50.0%
一般家事	16件	13件	7件	7件	53.8%
交流でできること	14件	10件	9件	7件	70.0%
送迎や外出の付き添い	10件	9件	6件	2件	22.2%
趣味・特技を活かして	24件	16件	9件	9件	56.3%
紹介・相談・情報提供	6件	5件	3件	1件	20.0%
サービス	20件	18件	8件	0件	0.0%
全体	120件	93件	57件	37件	39.8%

テーブル1	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	10件	7件	3件	30.0%
一般家事	8件	5件	4件	4件	80.0%
交流でできること	7件	5件	5件	5件	100.0%
送迎や外出の付き添い	5件	5件	4件	0件	0.0%
趣味・特技を活かして	12件	7件	7件	7件	100.0%
紹介・相談・情報提供	3件	2件	2件	1件	50.0%
サービス	10件	9件	8件	0件	0.0%
全体	60件	43件	37件	20件	46.5%

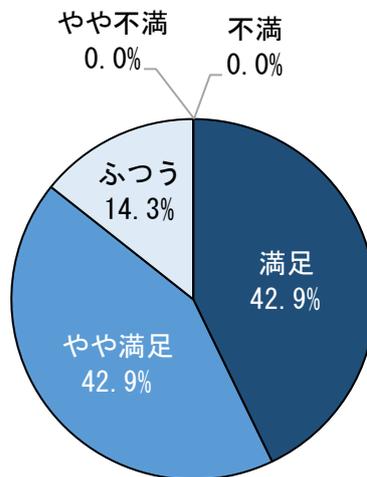
テーブル2	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	12件	8件	8件	66.7%
一般家事	8件	8件	3件	3件	37.5%
交流でできること	7件	5件	4件	2件	40.0%
送迎や外出の付き添い	5件	4件	2件	2件	50.0%
趣味・特技を活かして	12件	9件	2件	2件	22.2%
紹介・相談・情報提供	3件	3件	1件	0件	0.0%
サービス	10件	9件	0件	0件	0.0%
全体	60件	50件	20件	17件	34.0%

## ②アンケート調査結果

### Q 1. 交流会に参加していかがでしたか？

交流会の満足度について、「満足」「やや満足」が最も多く 42.9%、次いで「ふつう」が 14.3%となっています。

第9回【n=14】



### <Q 1で「1. 満足」「2. やや満足」と回答した人にお聞きします>

#### Q 1-1. どのようなところが良かったですか。

- ・グループで交流できたことが良かった。
- ・意見交換ができたこと。
- ・自分以外の人の困っていることが分かった。
- ・色々と思った以上に課題があるので勉強になりました。
- ・地域の方と話せたこと。
- ・自分と違う観点から学ぶことができた。
- ・宮、宮前地区の人と繋がれたこと。
- ・自分と違う考え方がわかって見識が広がった。
- ・ゲームをやる中で、みんなで協力していくことの大切さが良く分かりました。
- ・異なる視点を持つ人の意見を聞いて有意義でした。
- ・色々な支援があることを知ってさらに必要を感じた。

#### Q 3. 「助け合い」についてどのように感じましたか？

- ・住民の会話
- ・自分のできる範囲で接していきたい。
- ・今はまだ人の手を借りずにすんでいますが、何年後にお世話になると思います。
- ・ご近所でできていることも多い。
- ・もっと顔の見える関係を作りたい。
- ・助け合いをしてもお礼が直ぐ返ってくる気遣いの無い社会づくり。

- ・たくさんの援助することがあるのだと思いました。近所の人でも色々と助けてほしいと思っていることがあるのでしょうか。そんな声をどうしたら聞けるのかなぁと思います。
- ・高齢化している地域の中で大変必要ですね。
- ・ゆるやかな、無理のない共助が必要。
- ・高齢化が進む中さらに必要を感じた。

Q 4. 今後、和歌山市で「地域の絆」をつくっていくためには、何が必要だと思いますか？

- ・定期的な交流
- ・このような会を1年くらい開催する努力をしてほしい。
- ・近所で仲良く話し合うことが大事です。
- ・世代を越えて地域の方と話す機会。きっかけ作りから、どのように行動に移していくか。
- ・小さいコミュニティの盛り上がりが必要。
- ・返礼などの気遣いのいらぬ社会づくり。お互い様の心を持った社会。
- ・困っている人の声をどうしたら聞けるのか考えてほしいです。
- ・お互いが思いやりのある組織作りが大切だと思います。
- ・地域コミュニティの増設⇒つながり
- ・自治会活動。

## (10) 三田・岡崎・安原・西山東・東山東地区

### ①ワークショップ結果



3テーブルでワークショップを行いました。その合計をみると、地域の困りごとのうちご近所で解決できることは「一般家事」が最も多く 68.4%、次いで「手軽なお手伝い」が 52.0%、「交流でできること」が 46.7%と続いており、全体では 34.2%となっています。

合計	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	45 件	25 件	19 件	13 件	52.0%
一般家事	24 件	19 件	14 件	13 件	68.4%
交流でできること	21 件	15 件	13 件	7 件	46.7%
送迎や外出の付き添い	15 件	9 件	6 件	3 件	33.3%
趣味・特技を活かして	36 件	17 件	15 件	1 件	5.9%
紹介・相談・情報提供	9 件	8 件	0 件	0 件	0.0%
サービス	30 件	18 件	9 件	1 件	5.6%
全体	180 件	111	76 件	38 件	34.2%

テーブル1	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	11件	6件	3件	27.3%
一般家事	8件	8件	6件	6件	75.0%
交流でできること	7件	4件	4件	2件	50.0%
送迎や外出の付き添い	5件	4件	3件	3件	75.0%
趣味・特技を活かして	12件	5件	3件	1件	20.0%
紹介・相談・情報提供	3件	2件	0件	0件	0.0%
サービス	10件	7件	5件	1件	14.3%
全体	60件	41件	27件	16件	39.0%

テーブル2	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	6件	6件	4件	66.7%
一般家事	8件	5件	2件	1件	20.0%
交流でできること	7件	4件	3件	2件	50.0%
送迎や外出の付き添い	5件	2件	0件	0件	0.0%
趣味・特技を活かして	12件	6件	6件	0件	0.0%
紹介・相談・情報提供	3件	3件	0件	0件	0.0%
サービス	10件	2件	0件	0件	0.0%
全体	60件	28件	17件	7件	25.0%

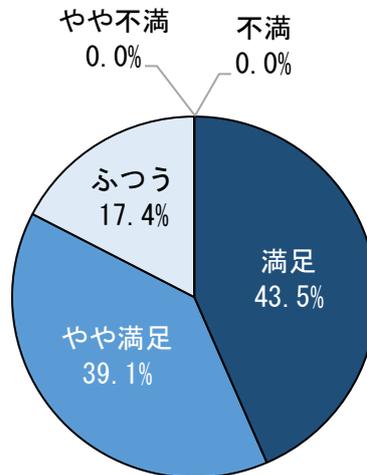
テーブル3	全体	地域の困りごと			
			うち、自分たちでできること		
				うち、ご近所でできること	
手軽なお手伝い	15件	8件	7件	6件	75.0%
一般家事	8件	6件	6件	6件	100.0%
交流でできること	7件	7件	6件	3件	42.9%
送迎や外出の付き添い	5件	3件	3件	0件	0.0%
趣味・特技を活かして	12件	6件	6件	0件	0.0%
紹介・相談・情報提供	3件	3件	0件	0件	0.0%
サービス	10件	9件	4件	0件	0.0%
全体	60件	42件	32件	15件	35.7%

## ②アンケート調査結果

### Q 1. 交流会に参加していかがでしたか？

交流会の満足度について、「満足」が最も多く 43.5%、次いで「やや満足」が 39.1%、「ふつう」が 17.4% となっています。

第10回【n=23】



### <Q 1で「1. 満足」「2. やや満足」と回答した人にお聞きします>

#### Q 1-1. どのようなところが良かったですか。

- ・今回の研修を通じて、気付かなかった手助けを出来ることが知れてよかった。カードを利用したゲームであったので楽しく学ぶことが出来ました。
- ・いろいろ話げできました。
- ・皆さん高齢の方が多かったのですが、話がしやすく楽しかったです。
- ・同地域の人々の考え方が、少しですが同じ思いをしていることに嬉しく思います。
- ・色々な考え方をする人と同一テーブルでの議論が楽しかった。
- ・地域性の為か同じような考え方である。
- ・自分に何が出来るかを考えられた。
- ・新しい発見が少しあったこと。
- ・改めて、地域の絆が必要と感じた。
- ・地域の皆様と交流し、助け合いが必要であることが十分に理解できました。
- ・色々な人にそれぞれの考え方を教えてもらい、良かった。
- ・皆さんの考え方に大差無かったこと。
- ・地域状況の違いを見聞きすることができた。
- ・地域間コミュニティの意見交換ができた。
- ・自分で思うことも話し合うことで解決できると感じました。
- ・困りごとの内容。自分の特徴は具体的に見えた。
- ・助け合いの内容が良かった。
- ・自分がどのような地域活動に合っているのかわかった。
- ・皆様色々な活動をされていることが分かり、自分も頑張ろうと思った。

Q3. 「助け合い」についてどのように感じましたか？

- ・近所との触れ合いを多くしていくことの大切さを知りました。
- ・話をすることで、助け合いはいかに大切かと思いました。
- ・毎日の生活の中で少しでも声掛けしていくことが必要かもしれません。
- ・地域では互いの助け合いが少なくなっているようですが、これではいけないと感じました。
- ・自分の生活の余った時間を地域のために動きたいと思います。
- ・皆様、同様の悩みを持っている。テーマを分けてWSをやるのも有益と思う。
- ・事業所がもっとしっかりしてほしい。
- ・近所での助け合いが大切だと思いました。出来ることがたくさんありました。
- ・助け合いは大切。一人では生きられない。
- ・近所、地域が大切だなあ
- ・大事なことだと思います。
- ・大変重要。お互い意識を持つこと。
- ・関係機関や地域ぐるみで交流しなければならない。課題が山積み。
- ・人と人の触れ合い。話し合いができることが助け合いに結び付くのではないのでしょうか？
- ・その気になればやれることは多い。地域のつながりを大切にしたい。
- ・人の意見を聞き、理解することが大切。
- ・共助意識を持った。
- ・助け合いがつながる場が必要だと感じました。
- ・必ず必要。
- ・ボランティア活動をしていますので、助け合いをします。
- ・出来る事は助け、自分が出来なくなったときは素直に手助けしてもらうことが大切。
- ・自分のできることはどんどんしてみたいです。

Q4. 今後、和歌山市で「地域の絆」をつくっていくためには、何が重要だと思いますか？

- ・もっと自治会などで頑張ってもらいたい。
- ・地域の絆づくりの場を最初は市が中心になってやって頂きたい。
- ・防災をテーマにして、助け合い、声掛け活動をやれば、実は上がってくるでしょう。このチームの平均は65~75ですが、やる気充分、高齢者も捨てたものではないですよ！
- ・人間同士の付き合い。
- ・自治会を中心にして強い絆を作ることが大切だと思います。もっともっといろいろな集まりを作ることが必要です。市報を配る、集金、回覧板だけでなく良く知り合う事から必要です。
- ・色々な行事に積極的に参加する心。
- ・それを話し合いしたかった。
- ・地域みんなが関心を持つこと。
- ・つながりが必要
- ・より多くの参加者。
- ・日常のいろんな会の輪の中に属すること。

- ・ 基本的な研修機会はどうか
- ・ 必要である。
- ・ 気軽に誰もが立ち寄れる場の提供。岡崎団地は建て変えて、集会場も新しくできるのであれば、周辺の集会場は古い。共同でも使用できる公園にしてほしい。
- ・ 話し合う場がほしいです。
- ・ 4～5人位のグループ作りに力を入れてほしい。
- ・ もっともっと参加していきたいです。



## 4 參考資料

(1) チラシ・ポスター

わかやま市 きずな

# 地域の絆づくり交流会

参加  
無料

市民の皆さまが日頃の生活の中で感じている  
困りごとなどを話し合い、情報交換を行います。

カードゲームを使って  
楽しく話し合いましょう！



**対象者** 各地区にお住まいの方。お勤めの方はどなたでも。

**参加方法** 申し込み不要です。直接会場にお越しください。  
申請書・手話などの介助が必要な方は、事前にご連絡ください。

**日程・場所**

参加対象地区	日時	会場	住所
西和佐・和佐・小倉 ・四箇郷	11/10 (土) 14:00～15:30	河南コミュニティセンター 多目的ホール	布施屋 41 番地
高松・吹上・砂山・今福	11/17 (土) 10:00～11:30	中央コミュニティセンター 多目的ホール(大)	三沢町 1 丁目 2 番地
大新・新南・広瀬・芦原	11/17 (土) 14:00～15:30	中央コミュニティセンター 多目的ホール(大)	三沢町 1 丁目 2 番地
貴志・野崎・湊・楠見	11/18 (日) 14:00～15:30	河北コミュニティセンター 多目的ホール	市小路 192 番地の 3
有功・直川・紀伊・川永 ・山口	11/24 (土) 10:00～11:30	北コミュニティセンター 多目的ホール(2)	直川 326 番地の 7
雄湊・城北・本町 ・中之島	11/24 (土) 14:00～15:30	和歌山市役所 14 階大会議室	七番丁 23 番地
名草・和歌浦・雑賀 ・雑賀崎・田野	12/1 (土) 14:00～15:30	南コミュニティセンター 多目的ホール	紀三井寺 856 番地
加太・西脇・木本・松江	12/9 (日) 14:00～15:30	河西コミュニティセンター 多目的ホール(小)	松江北 2 丁目 20 番 7 号
宮北・宮・宮前	12/15 (土) 14:00～15:30	和歌山ビッグ愛 展示ホール	手平 2 丁目 1-2
三田・岡崎・安原 ・西山東・東山東	12/16 (日) 14:00～15:30	東部コミュニティセンター 多目的ホール	寺内 665 番地

※駐車場には限りがあります。お越しの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

広げよう

深めよう

地域のきずな

**主催** 和歌山市  
**問合せ先** 高齢者・地域福祉課 (電話: 073-435-1063 / FAX: 073-435-1268)

## (2) 新・助け合い体験ゲーム

公益財団法人さわやか福祉財団

# 助け合いの地域づくりをしましょう!

## 「新・助け合い体験ゲーム(実践編)」

住民主体の、助け合いのある温かい地域づくりのために、ワークショップや勉強会等でぜひご活用ください!

第1部「近隣 助け合い体験」

第2部「ニーズの掘り起こし」

第3部「担い手の掘り起こし」



解説書



近隣助け合い体験カード

担い手の掘り起こしカード

※第1部「近隣助け合い体験」ゲームは、NPO法人タイムダラー・ネットワーク・ジャパン考案による「タイムダラー・ゲーム」をアレンジして作成したものです。

### (3) アンケート調査票

#### 地域の絆づくり交流会 アンケート

Q1. 交流会に参加していかがでしたか？

1. 満足 2. やや満足 3. ふつう 4. やや不満 5. 不満

<Q1で「1. 満足」「2. やや満足」と回答した人にお聞きします>

Q1-1. どのようなところが良かったですか。

--

<Q1で「4. やや不満」「5. 不満」と回答した人にお聞きします>

Q1-2. どのようなところが悪かったですか。

--

Q3. 「助け合い」についてどのように感じましたか？

--

Q4. 今後、和歌山市で「地域の絆」をつくっていくためには、何が必要だと思いますか？

--

年齢	1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上
性別	1. 男性 2. 女性
地区名	( ) 地区

ご協力ありがとうございました。